

元気なグループ紹介

ええのお広石

高蓋自治振興会



そば脱穀交流会



キノコ鑑定研究会

私達広石班は、平成17年に「ええのお広石」を立ち上げました。「ええのお」とは、この地方では「いいなあー」という意味の方言で、みんなからうらやましがられる地域にしようという意味を込めて名付けました。広石の地を離れた方々にも声をかけ、「何んも無いところに何でもあった！」をスローガンに、広石の自然や交流をテーマにした3つの事業を行っています。

①「広石の景観保存事業」では、桜の苗木移植や広石のシンボルとしての水車小屋「コットン広心館」設置。

②「広石の自然保護事業」では、広石大池のジュンサイ保存栽培、竹炭窯の建設とその生成炭を利用した川の水の浄化など。

③「広石ふれあい事業」では、ソバの栽培と花見の会さらに新年会における収穫祭の実施・大豆の栽培とそれを利用した味噌造りなどのコミュニティ活動など。

今後もこの事業を推進しながら、広石のみんなが、笑顔で集えるような地域づくりを行っていききたいと思っています。

第12回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ①議会○○推進特別委員会を設置
- ②第○○回神石高原町の医療考える集いを開催
- ③一般質問 ○○○ブランドで全国制覇を
- ④一般質問 地震・○○・減災対策は。
- ⑤元気なグループ紹介 ええのお○○

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募はお1人・1通に限定させていただきます。

《あて先》

〒720-11522 神石高原町小島二〇二五

神石高原町議会事務局

「第12回議会クイズ係宛」

《締め切り》

2月10日(金) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

昨年、突然大震災と原発事故が東日本を襲いました。民主党政権の対応は後手後手に回り、説明不足と情報の小出し、継続性のない政策発表は国民に政治不信を抱かせ、将来の日本の姿が見えないまま新年を迎えました。

大阪市長選挙での橋下氏の圧勝は何を意味するのか。

地方の時代の到来です。

二元代表制の一翼を担う地方議会は、住民の負託に、より応え得る議会として、より気持ち新たに改革に取り組まねばなりません。

議会広報もより分かり易い編集に努めます。

この一年ご愛読をよろしくお願い致します。

(木)

議会広報広聴調査特別委員会

- 委員長 寄定 秀幸
- 副委員長 小川 清治
- 木野山 孝志
- 橋本 輝久
- 横尾 正文

住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-8913340
FAX 0847-8514201